

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

大阪府堺市

●地域における現状・課題

- ・少子化対策及び働き方改革の観点から、学校部活動が「学校単位」で維持できなくなることが今後困難になると予想されるため、地域連携・地域移行を進める必要がある。
- ・「第3期未来をつくる堺教育プラン（R3～R7）」のもと、「子ども」「学校」「地域」という3つの重視すべき視点を大切にしながら、本市のあり方をまとめていくことが求められる。
- ・子ども、保護者、教職員に対するアンケート結果から、学校部活動の良さ等を継承しつつ、それぞれのニーズを反映させた取組を進めていくことが重要となる。

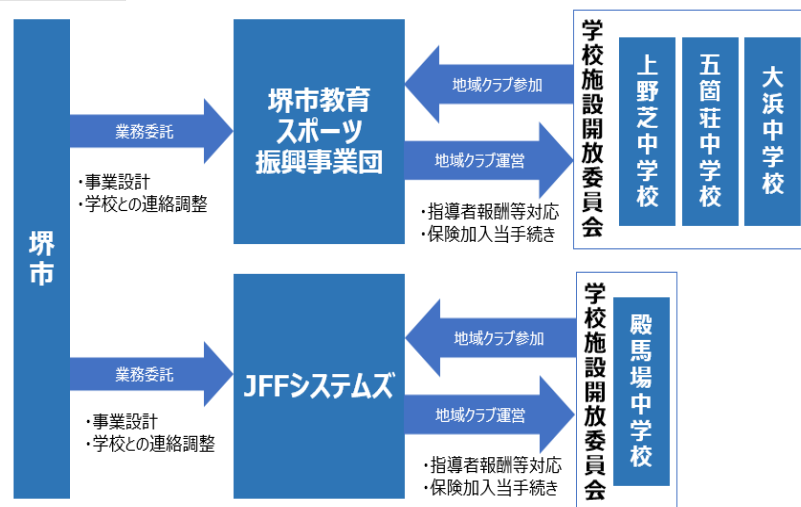
●取組事項の概要

- ・【取組項目 ア】大学教授2名による指導助言及び運営団体（業務委託先）の整備及び実施内容の検討
- ・【取組項目 ウ】産官学連携をしながら生徒を対象としたイベント（指導講習会等）及び指導者を対象とした研修会の実施
- ・【取組項目 キ】「学校施設開放事業」を活用し、学校部活動を地域クラブ活動として登録することで無償で学校施設を使用

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・【取組項目 ア】民間企業の指導者に部活動地域移行を担ってもらうにあたり、生徒、保護者、学校からの信頼を得るため段階的にかかわりを進めることで好評を得た。
- ・【取組項目 ウ】ららぽーと堺スタジアムコートの活用に際して、産官学全関係者が情報共有できる関係性を構築できたことで、円滑に取り組むことができた。
- ・【取組項目 キ】「学校施設開放事業を活用すること」が最も工夫した点である。これにより、無償で学校施設を利用することができるようになった。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型（体育・スポーツ協会運営型）
- (2) 運営主体：堺市教育スポーツ振興事業団
- (3) 種目：女子ソフトテニス、柔道、女子バレーボール
- (4) 指導者の主な属性：兼職兼業教職員、部活動指導員
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：平均月2回程度（R5.10月から）
- (6) 主な活動場所：学校（学校施設開放事業を活用）
- (7) 主な移動手段：徒歩
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円